



みやぎ県議会だより

平成31年 2月定例会特集 第129号

編集・発行 宮城県議会広報委員会 TEL.022(211)3592 千980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

女川原発再稼働

投票形式など議論相次ぐ

県民投票条例案は否決

第307回宮城県議会(2月定例会)は2月13日から15日まで3日間の会期が開かれた。総額1兆103億円の平成31年度一般会計当初予算案など10議案を可決・同意した。提案理由の説明で村井嘉浩知事は「31年度は震災復興計画の『発展期』2年目。復興の総仕上げを達成するために極めて重要な年」と位置づけた。予算編成方針については「復興を最優先に、地域経済振興策や新たな行政課題解決のための施策に重点配分した」と強調。東日本大震災後、運転を停止している東北電力女川原発2号機(女川町、石巻市)の再稼働の是非を問う県民投票条例案は、反対35、賛成21で否決した。代表質問、一般質問では県民投票条例をはじめ、震災復興、観光振興などについて活発な質疑が行われた。

東北電力女川原発2号機再稼働の是非を問う県民投票条例案は、代表質問、一般質問で計10議員が取り上げた。議員は「県民投票条例は『11万人を上回る県民の署名による請求の意義を重く受け止めている。その上で、原発稼働の是非を県民投票で判断する』と、執行上の課題を意見として示した」と答弁した。

議員からは「日々、県民の声を聞き、その声を反映させる。県政に生かすのが議員の役割。その活動、議論を制約するような条例案は、いかなる場合でも議論が相次いだ。県民投票に対する民意は多様。賛成反対の声があつた。一方、住民投票は県民の多様なニーズを反映できない。『択以外』の選択肢を検討するなど、工夫や改善の余地がある」と思ふなどの指摘があつた。総務企画委員会環境生活農林水産委員会連合審査会で参考人の3人は「県民は

観光施策活発に提案

観光施策で国民的人気アトラクション「ポケモンセンター」を起用する新年度のキャンペーンについて議員は「『サザエさん』は県産海産物との連携が期待できる。活用方針はどうか」と質問。さらに「ポケモンセンターについて『地図情報を活用するスマートフォン向けゲーム『ポケモンGO』と宮城オルレとの連携で相乗効果を高めてはどうか』と提案した。これに対し知事は「サザエさんによるPR動画ではアニメと同じ声優陣で全市

議決した議案等



2月定例会の本会議

発議<2件>

- 賀詞
- 宮城県議会委員会条例の一部を改正する条例

意見書<3件>

- 東日本大震災の被災者に対する教職員の中長期的な加配を求める意見書
- 放課後児童クラブの質の確保を求める意見書
- 食品ロス削減に向けての取り組みのさらなる推進を求める意見書

可決・同意した知事提出議案<108件>

- 平成31年度宮城県一般会計予算
- 森林環境整備基金条例
- <附帯意見> 「(仮称)森林環境譲与税の配分については、より実効性のある取り組みの実施及び譲与基準の見直しを図るよう国に求めること」
- 平成30年度宮城県一般会計補正予算
- 副知事の選任につき同意を求めることについて
- 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて ほか

否決した知事提出議案<1件>

- 東北電力女川原子力発電所2号機の稼働の是非に係る県民投票条例制定の請求について

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

一択の判断をする力を持つてい。実施してもらえないのであれば、(三択が)駄目というのではない。『県民の意見を聞くことでの損失はないが、聞かないことでの損失は大きい。政治不信が高まる』『三択だけでは少数の声を聞くのは難しい』『それぞれの見解を述べ、委員も質疑を重ねた。』

月額増やし対象も拡充

東日本大震災の被災者支援で議員は「震災遺児・孤児に対する『みやぎ子ども育英基金』の奨学金給付額を増やしてほしい」と訴えた。震災以外の遺児・孤児に対する奨学金制度を創設する。小中学生に月額1万円、高校生に月額1.5万円、20万円の一時金を給付する」と述べた。

利用開始延期で質疑

防災減災対策では県がJR仙台駅西口ターミナル駅敷地(仙台市宮城野区)に整備する広域防災拠点の利用開始が当初予定されていた2020年度から早くとも

質問者と主な質問項目

- 代表質問(3人)
- ▽石川光次郎(自民) 県政の今後の展望について▽藤原

のりすけ(県民の声) 知事の政治姿勢について、持続可能な開発目標の達成について、東日本大震災の教訓について、エネルギー問題と県民投票条例について▽角野達也(共産) 国政の重要課題に対する知事の認識について、村井知事の政治姿勢と来年度予算案について、女川原発再稼働の是非を問う県民投票条例について

付型の奨学金制度を創設する。小中学生に月額1万円、高校生に月額1.5万円、20万円の一時金を給付する」と述べた。災害公営住宅の在り方で議員は「被災地の急激な人口減を懸念しながら、地域を持続させる観点から今後の適切な在り方はどうか」と質問。土木部長は「将来的に需要の減少が想定される市町と策定した県民投票条例案を、観光産業と連動した宿泊施設、福祉施設への用途変更などを視野に整備を進めた。今後の需要推計や活用方針などを市町と意見交換や助言をしていく」とした。

音声認識アプリ

まず2校に導入引きこもり対策について議員は「県で引きこもりの独自調査を実施することで、自覚のない人も含めた早期発見、解決につなげることが重要と思うがどうか」と質問。保健福祉部長は「各保健福祉事務所などで相談を受けているが、実態把握は難しい。県独自の調査は検討課題として、他県の調査を参考にしていきたい」と答えた。

外国人労働者の受け入れ

外国人労働者の受け入れを促進してほしい」と答弁した。外国人労働者の受け入れを促進してほしい」と答弁した。

再生可能エネルギーの課題について、地域の安全・安心について▽大内真理(共産) 宮城県警察署別館解体について、仙台市消防局の消防ポンプ車について、仙台市消防局の消防ポンプ車について、仙台市消防局の消防ポンプ車について

予算特別委員会

3月1日と5日の両日、委員12人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成31年度宮城県一般会計予算等を可決した。総括質疑者 安部孝、佐々木賢司、渡辺勝幸、遠藤隼人、畠山和純(自民)、坂下やすこ、太田稔郎(県民の声)、福島かずえ(共産)、遠藤伸幸(公明)、岸田清実(社民)、菅間進(無所属の会)、吉川寛康(21世紀ク)

常任委員会

- 今定例会での主な審査議案は次のとおり。
- 総務企画委員会
- 審査議案 東北電力女川原子力発電所2号機の稼働の是非に係る県民投票条例制定の請求について(※) など10議案
- ※の議案については、総務企画委員会環境生活農林水産委員会連合審査会においても審査された。
- 環境生活農林水産委員会
- 審査議案 森林環境整備基金条例な

大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は、2月上旬から3月中旬にかけて延べ3日間、被災市町で調査を行った。市町議会議員との意見交換などを通じて、復旧・復興の進捗状況を確認するとともに、震災復興計画の『発展期』初年度として、浮き彫りになった諸課題への認識を共有した。

議長記者会見

2月定例会閉会日の3月15日、佐藤光樹議長が記者会見を行った。2月定例会を振り返って佐藤議長は「2月定例会は新年度の県の予算を決める特に重要な議会であり、代表質問および一般質問においては、それぞれの考え、立場から県政の課題を整理し、活発な議論が行われた。東北電力女川原子力発電所2号機の稼働の是非に係る県民投票条例制定の請求に關しては、11万人を超える方々の署名を大変重いものだと認識している。各会派の議員がそれぞれの立場で地域の声を聞きながら議論を戦わせ、本当に重い判断をした結果

県議会からのお知らせ

- ラウンジコンサート
- 県議会では、年4回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。
- ◇次回コンサートの開催予定
- ・日時/6月17日(月)午後0時15分~45分
- ・場所/県議会議事室1階ラウンジ

・出演/水戸 ふぢ(オカリナ、ピアノ演奏)

- 傍聴のご案内
- 本会議、各委員会は手続きの上、傍聴できます。
- ▽お問い合わせ先 宮城県議会議事局総務課 TEL.022(211)3571
- ホームページのご案内
- 定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧ください。

宮城県議会 検索

●議会中継のご案内

スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけます。

QRコードのアクセスはこちらから

「みやぎ県議会だより」へのご意見・感想をお寄せください

宮城県議会議事局政務調査課

千980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL022(211)3592 FAX022(211)3598

Eメール gtyosas@pref.miyagi.lg.jp